BEYOND SDGs エコプロ

BEYOND SDGs エコプロ 2026 の開催にあたっては、
様々な環境負荷低減の取り組みを行っており、
できるだけ排出量を削減できるように心掛けています。

- カーボン・オフセット
- 展示廃棄物リサイクル
- 資源循環可能な素材の採用
- 配布資料のPDFダウンロード
- 環境に配慮した用紙などの利用
- グリーン電力の使用
- LED照明器具利用の推奨
- 電力消費量の削減

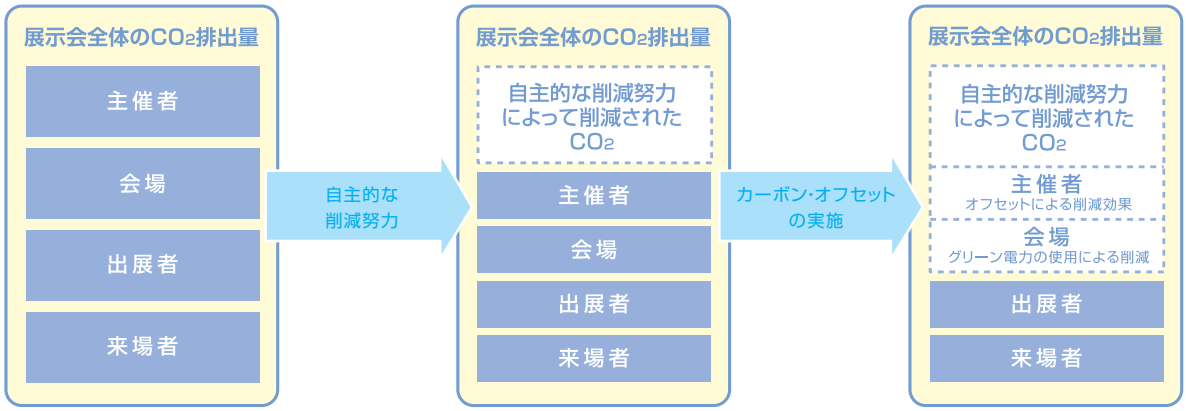
BEYOND SDGs エコプロ 2026での カーボン・オフセット

CO_2排出量を削減するには、CO_2を発生させないことが最も大切です。

本展でも様々な環境負荷低減の取り組みを行っていますが、やむを得ず発生するCO_2はカーボン・オフセットを行うことで実質的な削減を行っています。

カーボン・オフセットは、CO_2を排出した分のクレジットを購入することで、その排出量を相殺する仕組みです。 本展では、主催者の活動に伴って発生するCO_2排出量のオフセットを行っています。

BEYOND SDGs エコプロでのカーボン・オフセットの適用イメージ



※カーボン・オフセットの考え方のイメージ図であり、実際の削減量を表すものではありません。

主催者によるCO_2排出量のカーボン・オフセット	451t-CO_2

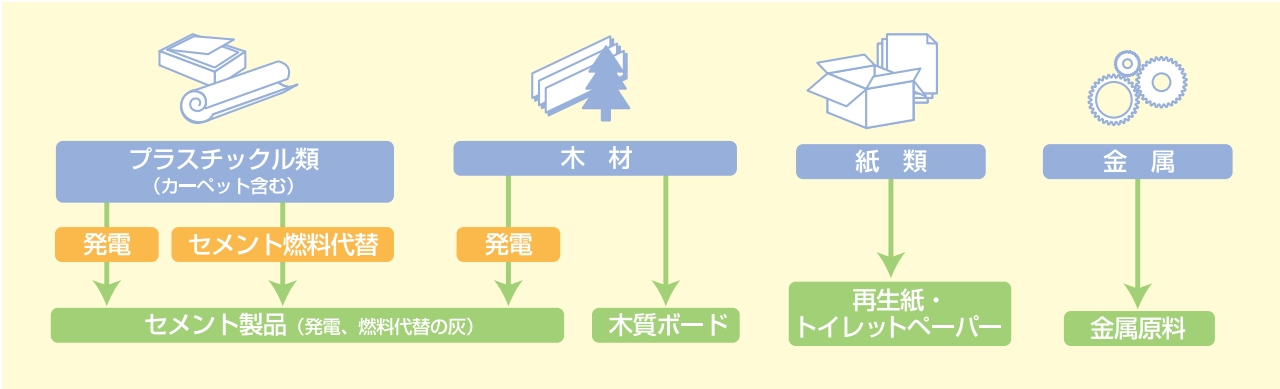
BEYOND SDGs エコプロ

展示造作について

展示廃棄物リサイクル

主催者の活動に伴って排出するものの再資源化・リサイクル（一部サーマルリサイクルを含む）に加え、新規に造作したものやパンチカーペットなど、やむを得ず廃棄しなければならない展示装飾物などを主催者が一括して回収し、マテリアルごとに分別して再資源化（一部サーマルリサイクルを含む）を行います。

展示廃棄物回収後のリサイクルルート



展示廃棄物リサイクル参加出展者一覧

【エコプロEARTH】

小間番号	出展者名
2-023	ガラスびん3R促進協議会
2-048	東京都「グリーン製品（支援事例）」
2-049	小金井市観光まちおこし協会
3-044	東京動物園協会

【サーキュラーパートナーシップEXPO】

小間番号	出展者名
1-080	産業技術総合研究所 / AIST Solutions

【日経健康経営・ロンジェビティEXPO】

小間番号	出展者名
7-002	エムステージ

（小間番号順、11月10日現在）

資源循環可能な素材の採用

サーキュラーエコノミー推進に向け、可能な限り循環型素材を活用します。

BEYOND SDGs エコプロ

配布資料や印刷物について

配付資料のPDFダウンロード

資料が必要な人は、ホームページの出展者ページからPDFファイルをダウンロードできます。

環境に配慮した用紙などの利用

印刷物には、間伐材活用紙など環境に配慮した用紙やインクを可能な限り使用しています。

電力の使用について

グリーン電力の使用

BEYOND SDGs エコプロ 2026では、各出展者の展示ブースで使用する電力のほか、会場照明や空調に使用する電力まで、使用する電力をグリーン電力で賄い、風力、太陽光発電などの自然エネルギーを使用しています（53,000kWh相当）。自然エネルギーの使用により、約22トン（*1）のCO_2削減効果が見込まれています。自然エネルギーの使用には、日本自然エネルギー（株）の「グリーン電力証明書（*2）」を導入しています。

Green Power SOLAR　Green Power WIND　Green Power WATER

*1）電気事業低炭素社会協議会の2024年度全電力平均CO_2排出係数0.422kg-CO_2/kWhにより算出

*2）グリーン電力とは、風力、太陽光、バイオマス（生物資源）、水力などの自然エネルギーによって発電された電力のことです。自然エネルギーによる発電は発電するときにCO_2を発生しないため、地球温暖化を防止するなどの「環境付加価値」をもっていると考えられています。この「環境付加価値」を「電気」と切り離して、証書（グリーン電力証書）というかたちで取引をすることで、自然エネルギーによって発電されたグリーン電力を使用しているとみなすことができます。

LED照明器具利用の推奨

主催者企画コーナーのほか、希望する出展者が有料で使用する「エコパッケージブース」では、消費電力が少なく寿命が長いLEDランプを使用したスポットライトを採用しています。出展者にもLED照明器具の利用を呼びかけています。

電力消費量の削減

会場内の電力使用量を削減することを目標にして、出展者の皆様にも協力をお願いしながら展示会運営を行います。